

2019年9月27日

ファスニングジャーナル(4面)に掲載されました

関西ものづくりワールド2019 4・5面 第22回関西機械要素技術展特集

ファスニングソリューション披露 最適なねじ締め提案 日東精工

日東精工(京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地)では、軽量化に貢献するマルチマテリアルの締結部品を多く展示するほか、位置補正カメラ搭載のねじ締めロボットや高性能検査選別機(ミストル)を出展し、ファスニングソリューションを披露する。

▽位置補正カメラ搭載ねじ締めロボットは、従来の位置補正カメラ搭載ねじ締めロボットは、従

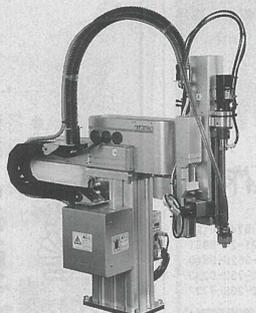
来では製品の多種多様化が進むにつれ組付対象部品の形状が複雑になること、正確な位置決め(固定)が困難になり、締付位置のズレが生じる等の課題があった。この度、締付装置側の補正機能搭載の要望に応える形で、独自のYθ型ねじ締めロボットに位置補正カメラを搭載し、締付品質の向上を実現。位置ズレ補正は

もちろんのこと、I/Oポインットの位置情報から全ポイントの位置補正や、ティーチングデータの自動補正など最適なねじ締めを提案する。

▽IoT対応ねじ締めロボットは、締結品質を左右するファクターを徹底収集し、IoT化を促進。複数のセンサーシステムを活用することで、締結工程をリアルタイムに監視する。異常の発生原因を特定するほか、データの蓄積・分析によって、「異常」が発生する条件の洗い出しにも役立つものとなっている。

▽AKROSE(アークローズ)は、工業用ファスナー(ねじ)の開発・製造を通じて培った冷間圧造技術によって素材を成形した後、その素材同士(複数個)をプレス加工により強固に接合させる新しい異種金属接合技術。従来の工法が必要であった接着剤などの媒体、素材、温度や首波、レーザーなどの印加が不要で、環境負荷の低減に貢献。冷間圧造が可能な鉄・ステンレス・アルミニウム銅などの接合ができ、回り止め強度や抜き強度を向上させる複雑な形状に成形することも可能となる。

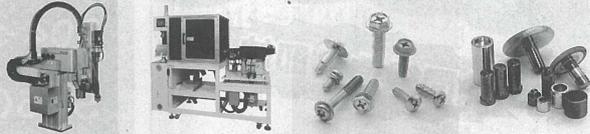
そのほかにも、鉄・鉄材とインサートナットを組み合わせる「カラーレスタイト」は、軽量化素材の特性に合わせたマルチマテリアルを実現する「ドリリングスクリーパー」専用締付機、樹脂・アルミ用セルフタッピング「アルミタイト®」、振動検査装置「KIZMI LエクスミルII」の展示紹介および、グループ企業の伸和精工(株)による精密プレス技術もPRする。このうち「ギザタイト」は樹脂材への緩み止めセルフタッピング、ねじフランジ面に円周4等分の溝部を成形し、溝部での樹脂の食い込みを利用して戻り回転による緩みを防止する。



IoT 搭載ねじ締めロボット・検査装置・異種金属接合

関西ものづくりワールド 2019 内
第22回 関西 機械要素技術展 M-Tech

会期：2019年10月2日～4日
会場：インテックス大阪 5号館 26-55



日東精工株式会社

<https://www.nittoseiko.co.jp/>

〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
TEL:0773-42-3111(代) FAX:0773-42-8426(代)

